



## 2019年7月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2018年12月7日

上場会社名 株式会社鳥貴族  
コード番号 3193 URL <http://www.torikizoku.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大倉 忠司

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 小畑 博嗣

TEL 06-6562-5333

四半期報告書提出予定日 2018年12月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年7月期第1四半期の業績(2018年8月1日～2018年10月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年7月期第1四半期	8,923	10.0	136	65.0	125	66.5	58	75.9
2018年7月期第1四半期	8,110	16.2	389	2.0	375	2.3	243	2.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年7月期第1四半期	5.07	
2018年7月期第1四半期	20.99	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年7月期第1四半期	17,757	6,914	38.9
2018年7月期	18,789	6,902	36.7

(参考) 自己資本 2019年7月期第1四半期 6,914百万円 2018年7月期 6,902百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年7月期		4.00		4.00	8.00
2019年7月期					
2019年7月期(予想)		4.00		4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年7月期の業績予想(2018年8月1日～2019年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,735	13.5	795	10.7	747	12.6	447	18.2	38.63
通期	37,950	11.7	1,744	3.7	1,645	2.0	747	12.9	64.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年7月期1Q	11,622,300 株	2018年7月期	11,622,300 株
期末自己株式数	2019年7月期1Q	34,738 株	2018年7月期	34,700 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年7月期1Q	11,587,578 株	2018年7月期1Q	11,587,600 株

(注) 当社は、株式給付信託(BBT)を導入しており、純資産の部において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(第1四半期累計期間) .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用状況の改善により緩やかに回復しましたが、米中貿易摩擦の悪化が今後の経済情勢に影響を及ぼすことが懸念されております。また、賃金については依然として上昇しているものの、消費の伸びは依然として弱い状況が続いております。この現象は統計ほど所得が改善していない可能性が高いことや、賃金上昇が特定の消費性向が低い層に偏っている結果として全体の消費性向が低下していること、将来の賃金に対する不安から貯蓄の合理性が増していることなどが指摘されております。こうした環境は近い将来、劇的に変化する可能性は低く、消費の回復・拡大は鈍い状況が続くと予想されます。

外食事業におきましては、原材料の高騰、人件費の上昇及び人手不足等を背景に経営環境は引き続き厳しい環境にあります。天候不順や自然災害など一過性要因を除いても、業界全体感としてやや力強さに欠ける状況が続いております。

このような状況の中、当社では、さらなる新規出店よりも既存店の売上強化が最重要課題であると認識し、既に出店予定である店舗を除き、新たな出店を取りやめることとし、既存店の売上を強化するため顧客価値の向上と人材基盤の強化を重点課題として取り組んでおります。

なお、当第1四半期累計期間は関東圏及び東海圏を中心に9店舗の新規出店を行い、当第1四半期会計期間末日における「鳥貴族」の店舗数は674店舗（前事業年度末比9店舗純増）となりました。当社の直営店につきましては、当第1四半期累計期間は8店舗の新規出店を行い、当第1四半期会計期間末日においては431店舗（同8店舗純増）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間は、台風により全店が休業したこと等の影響もあり、既存店売上高は前年同期比91.7%と厳しい状況が続いておりますが、一方で新規出店による店舗数が増加したこと等により売上高は8,923,340千円（前年同期比10.0%増）、売上総利益は6,281,012千円（同12.9%増）となり、販売費及び一般管理費は6,144,733千円（同18.8%増）となりました。売上が低調に推移したことが影響し、営業利益は136,279千円（同65.0%減）、経常利益は125,636千円（同66.5%減）、四半期純利益は58,730千円（同75.9%減）となりました。

なお、当社は飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は17,757,657千円となり、前事業年度末と比較して1,031,670千円の減少となりました。これは主に新規出店に伴い有形固定資産が増加した一方、新規出店のための設備投資及び法人税等の納付により現金及び預金が減少したこと等によるものであります。

当第1四半期会計期間末の負債は10,842,701千円となり、前事業年度末と比較して1,043,825千円の減少となりました。これは主に設備未払金及び前受収益の減少や未払法人税等の支払いを行ったこと等によるものであります。

当第1四半期会計期間末の純資産は6,914,956千円となり、前事業年度末と比較して12,155千円の増加となりました。これは利益剰余金が四半期純利益の計上により増加した一方、配当金の支払いにより減少したことによるものであり、自己資本比率は38.9%（前事業年度末は36.7%）となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年7月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、2018年9月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年7月31日)	当第1四半期会計期間 (2018年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,385,149	3,125,083
売掛金	309,343	335,526
商品及び製品	138,940	135,353
原材料及び貯蔵品	25,971	27,159
その他	848,823	968,700
流動資産合計	5,708,229	4,591,824
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,536,673	8,656,293
その他(純額)	1,881,115	1,881,575
有形固定資産合計	10,417,789	10,537,869
無形固定資産		
	79,715	74,410
投資その他の資産		
差入保証金	1,773,849	1,784,679
その他	810,290	769,090
貸倒引当金	△546	△216
投資その他の資産合計	2,583,593	2,553,553
固定資産合計	13,081,098	13,165,833
資産合計	18,789,328	17,757,657
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,067,508	1,069,425
1年内返済予定の長期借入金	992,962	918,707
未払金	1,557,111	1,568,360
未払法人税等	573,625	76,394
賞与引当金	296,683	160,495
株主優待引当金	26,497	18,381
その他	2,978,701	2,305,370
流動負債合計	7,493,089	6,117,135
固定負債		
長期借入金	1,926,439	2,293,919
退職給付引当金	74,424	80,192
役員株式給付引当金	10,662	10,662
資産除去債務	1,147,724	1,168,263
その他	1,234,185	1,172,528
固定負債合計	4,393,437	4,725,565
負債合計	11,886,526	10,842,701
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,491,829	1,491,829
資本剰余金	1,481,829	1,481,829
利益剰余金	4,018,947	4,031,189
自己株式	△89,804	△89,891
株主資本合計	6,902,801	6,914,956
純資産合計	6,902,801	6,914,956
負債純資産合計	18,789,328	17,757,657

## (2) 四半期損益計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2017年8月1日 至 2017年10月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2018年8月1日 至 2018年10月31日)
売上高	8,110,941	8,923,340
売上原価	2,547,881	2,642,328
売上総利益	5,563,060	6,281,012
販売費及び一般管理費	5,173,242	6,144,733
営業利益	389,818	136,279
営業外収益		
受取利息	57	54
受取補償金	1,164	2,483
補助金収入	-	3,842
その他	5,169	4,646
営業外収益合計	6,392	11,026
営業外費用		
支払利息	14,040	17,602
支払手数料	4,916	934
その他	1,832	3,132
営業外費用合計	20,789	21,669
経常利益	375,420	125,636
特別利益		
固定資産売却益	14,476	-
特別利益合計	14,476	-
特別損失		
固定資産除却損	362	0
その他	45	-
特別損失合計	408	0
税引前四半期純利益	389,488	125,636
法人税、住民税及び事業税	91,552	28,339
法人税等調整額	54,655	38,565
法人税等合計	146,207	66,905
四半期純利益	243,280	58,730

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。